



インフルエンザにご注意を…

先週から2年生を中心にインフルエンザの報告が急増し、明日から2年生が学年閉鎖、1年3組が学級閉鎖の措置を取ることになりました。28日現在、全校で30名がインフルエンザと診断されています。

今のところ報告されているのはすべてインフルエンザA型で、症状としては発熱・のど痛・頭痛などです。うがい・手洗いなどの対策をしっかりと、ご家庭でもインフルエンザの感染拡大に注意してください。

予防方法

- ①石けんを使った手洗い ②こまめなうがい ③十分な睡眠（夜更かしは大敵！）
④十分な栄養 ⑤マスクの着用・咳エチケット



かかってしまったら

- ①医師に「インフルエンザ」と診断されたら、学校にご連絡ください。欠席ではなく、出席停止扱いになります。（発症してから5日を経過、かつ解熱後2日を経過するまで）学校保健安全法施行規則より
②自宅で安静にし、外出はしないでください。
③家族間での感染に注意してください。
④熱が下がっても、周囲の人への感染はあります。無理せず、医師の指示に従ってください。



◎インフルエンザによる異常行動について

先日、埼玉県でインフルエンザで学校を休んでいた6年生の男児がマンションの窓から飛び降りるという事件がありましたが、昨年から厚生労働省によるインフルエンザの患者による異常行動に注意喚起が行われています。昨シーズンは95件確認されており、年齢は10歳前後の子どもが中心で、多くのケースが発熱から2日以内に起きているとのこと。

異常行動としては、「興奮して窓を開けて外に飛び出す」「意味の分からないことを言う」などがあげられており、施設や寝る場所など、対策をとる必要がありそうです。お子様に症状が出ているうちは、できるだけ目を離さないようお願いいたします。

厚生労働省が呼びかける異常行動による事故防止策

原則 ※これまでも注意喚起を行っている内容

子どもや未成年者がインフルエンザにかかった時は、抗インフルエンザウイルス薬の種類や服用の有無によらず、少なくとも治療開始後2日間は一人数にしない



今回の追加策

- ・ 玄関や全ての部屋の窓のかぎを確実にかける
- ・ ベランダに面していない部屋や、窓に格子のある部屋で寝かせる
- ・ 一戸建てならば、できる限り1階で寝かせる

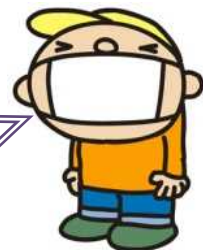


◎疑わしい症状が出たら…

インフルエンザの疑い(急な高熱・頭痛・関節の痛み・だるさなど)がある場合は病院を受診して、検査を受けましょう。

発症してから時間が経っていないと正しく検査結果が出ないことがあるのでタイミングが難しいですが、12時間くらいが目安のようです(最近は6時間程度で出る検査薬も多いようですが、病院に事前に確認すると安心です)。

出席停止の診断がされた場合は、学校にすみやかにお知らせください。



インフルエンザの出席停止期間について

発症後5日を経過し、かつ解熱後2日間

火曜日に熱が出て
水曜日には下がったよ！インフルエンザって言われたけど、金曜日には、学校行ってOK？



火曜日に熱が出て、
インフルエンザ様疾病の疑いがあるときには、早くても月曜日以降の登校となります。

出席停止期間の教え方

インフルエンザによる熱が出た日

(発症日)を○日と数えます。

抗インフルエンザ薬により1～2日で解熱することはありますが、感染期間は短縮しません。

	発症してから	0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	発症後5日を経過した後		
例1	発熱1日目に解熱した場合	熱	解熱	解熱後1日目	解熱後2日目	発症後4日目	発症後5日目	登校可能		
例2	発熱2日目に解熱した場合	熱	熱	解熱	解熱後1日目	解熱後2日目	発症後5日目	登校可能		
例3	発熱3日目に解熱した場合	熱	熱	熱	解熱	解熱後1日目	解熱後2日目	登校可能		
例4	発熱4日目に解熱した場合	熱	熱	熱	熱	解熱	解熱後1日目	解熱後2日目	登校可能	
例5	発熱5日目に解熱した場合	熱	熱	熱	熱	熱	解熱	解熱後1日目	解熱後2日目	登校可能

出席停止の休み明けには保護者の方に「学校感染症に関する報告書」を書いて提出していただきます。